

# 谷川岳 西黒尾根から天神尾根 奥飛騨温泉郷でキャンプ

日程：2013年09月14日(土)～2013年09月16日(月)

メンバー：10人

天候：曇りのち大雨

## コースタイム:

JR宝塚駅前 集合 13日 22:00  
谷川岳ロープウェイ乗り場 14日 6:30  
谷川岳 登山口 7:00  
西黒尾根 取付 7:15  
ラクダの背 9:45  
ラクダのコル 9:50  
天神尾根 出合 11:25  
トマの耳(山頂三角点) 11:37  
オキの耳(最高峰) 11:59  
肩の小屋(昼食) 12:24  
天神尾根 下山開始 12:40  
二俣(避難小屋) 13:50  
田尻尾根 分岐 14:20  
ロープウェイ 天神平駅 14:30  
巻機山 キャンプ場 到着 18:00  
キャンプ場 出発 15日 6:35  
奥飛騨温泉郷オートキャンプ場 到着 15:50  
キャンプ場 出発 16日 6:20  
JR宝塚駅前(解散) 15:20

## コース状況/その他周辺情報:

台風が近づいていたため、谷川岳は時々小雨の降るどんよりとした曇り空で、湿度が高く蒸し暑かった。西黒尾根は、取付きから急登の樹林帯歩き。稜線に出た途端、岩稜帯の登行が続く。山頂の双耳峰が見えてからがとても長い。やっと天神尾根との合流地点にたどり着くと、そこから急に人が増えた。ロープウェイで登ってくる人で山頂は大混雑。天神尾根コースのほうは、家族連れや軽装で登ってくる登山者が多い。天神尾根は、ガレた岩場も多く、決して楽なコースではなかった。そのせいか、鎖場などで立往生する人もいて、渋滞が発生していた。

ロープウェイは、ピストン運行しており待ち時間はない。ただし、最終便は17:00。

肩の小屋からロープウェイ乗り場まで、休憩なしで1時間半ほどかかるので、下山時には注意しなければいけない。

一の倉沢は、現在通行禁止になっている。

## 写真:



宝塚から、夜通し車を飛ばしてやっと谷川岳ロープウェイ乗り場へ。台風を心配しながらも、登山口に向かう。



ロープウェイの向こうに谷川岳が見える…はず？  
ガスってて見えない。



登山口に到着。



登山指導センターに登山届を提出する。



準備運動の後、ゲートをくぐり抜ける。



谷川岳は、手前の山の後ろ側に隠れている。天気は相変わらず。



林道をしばらく進むと…



西黒尾根登山口に到着。



いきなりの急登。木の根をつかみながら登っていく。



たくさん生えていた。湿度が高く蒸し暑い。キノコの喜びそうな気候。



結構急な樹林帯を1時間ほど進むと、山頂まで3時間の道標が現れた。



岩稜帯の始まり。



稜線に出てやっと涼しくなってきた。



岩稜の続く急登をこなしていく。



鎖場の連続。



時々ガスが晴れて、展望が良くなる。花の盛りは終わっていた。



気持ちいい風が吹く中でしばし休憩。



岩稜の尾根は、まだずっと先まで続いていた。



本当なら、このあたりから、山頂が見えるはずなのだが…



一枚岩の岩稜登行。三点支持で慎重に登る。



ほぼ垂直にも見える岩稜の登行が続く。



下からのぞくと、高度感たっぷり。



延々と続く鎖。



ガスってて、何も見えない～



なんだかんだで、ラクダの背、到着。



今来た道を振り返る。



これから行く道。険し～



ラクダのコルに到着



狭い岩場を何ヶ所か抜けると、



稜線の道にでた。



トリカブトの花。きれいだけれど、猛毒。



やっとなだらかになった。



某テレビの撮影???



しばらくなだらかになった道をゆくと...



天神尾根との合流点に。



看板を見て、確かに、西黒尾根を下るのは怖いな～



山頂ケレンではなかった。



人のたまっているほうに進むと...



ありました、トマの耳 1963m の標柱。



でかい三角点にタッチ。



ここから 25 分ほどまた下って登ると...



最高峰のオキの耳 1977m に到着。ここも大混雑。



山頂付近は人でごった返していたので、肩の小屋に向かう。



ここも人だらけ。何とか座る場所を見つけて昼食休憩。



天神尾根に向かう方面は大混雑。



天神尾根と、西黒尾根の分岐。西黒尾根から下る人もけっこういた。



最初は、急な木道。



岩のごろごろする歩きにくい木道を抜けた。



ガレた登山道。



天狗のトマリ場に人がたくさんたまっていた。



岩場も結構多い。



雨で岩が滑って歩きにくい。



・・・と、渋滞?!  
お年寄りのパーティーが立ち往生していたようだ。



二俣分岐に到着。



避難小屋前から、樹林帯に入る。



細かなアップダウンが続く。



木道が現れた。すべて歩きにくい。この木道は、ロープウェイ乗り場まで続いていた。



田尻尾根分岐。



やっと、ロープウェイ駅に到着。



ロープウェイは、10分ほどで下山口まで運んでくれた。



高速を北上して巻機山キャンプ場へ移動。  
夕食は、すき焼き!



明日は、かいちょへの誕生日。サプライズでメンバーがケーキを用意してくれました。



かいちょ〜大喜び♪



朝食は、昨日のすき焼きにうどんを足して、焼うどんに。



ゆで卵。



朝の朝食ビュッフェ。



雨が激しくなってきたので、巻機山登山は中止。次の山行のために、妙義山の下見。



ガスの中に、険しい山容が見え隠れする。



下見の後、軽井沢へ向かう途中で昼食。釜飯と信州そば。



大渋滞のため、軽井沢散策をあきらめて、作戦会議。明日、晴れ間が出たら焼岳に登るという計画に急きょ変更。



奥飛騨温泉郷に移動。当日予約で、奥飛騨温泉オートキャンプ場に幕営。ここは、キャンプ場内に露天風呂まであって、天国のようだった。



幕営地のすぐ後ろを流れる高原川。きれいな清流。



近くのAコープで食糧を調達して、さっそく食事の準備。



イワナのひれ酒。



飛騨牛の鉄板焼き。



地元野菜。安くて新鮮。山歩きしていないのに、みんな食べる、食べる…



翌朝は、さらに風雨がひどく、山歩きは断念して宝塚に帰ることになった。



名古屋の手前で台風と鉢合わせ。西方面に向かう高速は全面通行禁止に。帰れるのか？



最後のサービスエリア。

この後、一般道を5時間走行。



何とか、宝塚に無事到着。

## 感想／記録:

楽しみにしていた三連休も、台風襲来で4週連続の雨模様。

行ってみたはいいけれど、登山中止になるかもとの不安を抱えての出発となった。

谷川岳の登山口での天気予報は曇り時々雨だったが、登山決行。また、途中から雨が降ってくるのかと思いながらも、何とか一日降らずにいてくれた。

ただ、台風の湿った暖かい空気のせいで、非常に蒸し暑い。風の全くない樹林帯では汗だくだくに。水分も、1L以上摂取した。もっとうっとおしかったのが、人の多さ。

西黒尾根は、陰しいせいか、それほどでもなかったが、山頂に近くなればなるほど人が増えてくる。狭い山頂は、記念撮影する人でごった返していた。

帰りの天神尾根も、そこそこの難路。ロープウェイを使って、どんどん人が上がってくる。軽装の登山者や、親子連れが、歩くのに苦労して、結構な渋滞ができていた。

次の日は、台風襲来の予報だったが、夜中に通過してくれればと望みをかけて巻機山のふもとのキャンプ場に幕営。しかし、残念ながら朝から雨になって、登山を断念して撤収。次の山行の下見として、妙義山登山口へ。ここでも、雨がましになったら、ふもとの遊歩道を歩こうという計画だったが、激しい雷雨でこれまた断念。

もうこうなったら、恰好は気にせず軽井沢へお茶しに行こうということになった。

しかし、軽井沢も大渋滞で、駐車するところもなく、またまた断念。

もう、1泊で帰ろうということになりかけたが、まだ帰りたくないと言うあきらめの悪いメンバーもいて、奥飛騨温泉郷に移動して、もし今夜中に台風が通過して明日の天気が回復したら焼岳に登ろうと計画した。

しかし、我々の計画をあざ笑うかのように台風の歩みは遅く、次の日も朝から大雨。このままでは、台風と鉢合わせして、本当に帰れなくなってしまうかもと、朝から大急ぎで撤収して帰ることになった。

今度は予想どおり、完全に台風の進路に突っ込んでしまう。

高速道路は滋賀県より西は完全通行止。

大渋滞の一般道を大きく迂回して、関西方面へ。一般道を5時間通って、大阪府に入った時、本当にほっとした。

本当に行き当たりばつたりの珍道中になったが、それなりの楽しさはあった。

ただ、やっぱり、台風のときは、早く帰らないといけないなど、つくづく思った。